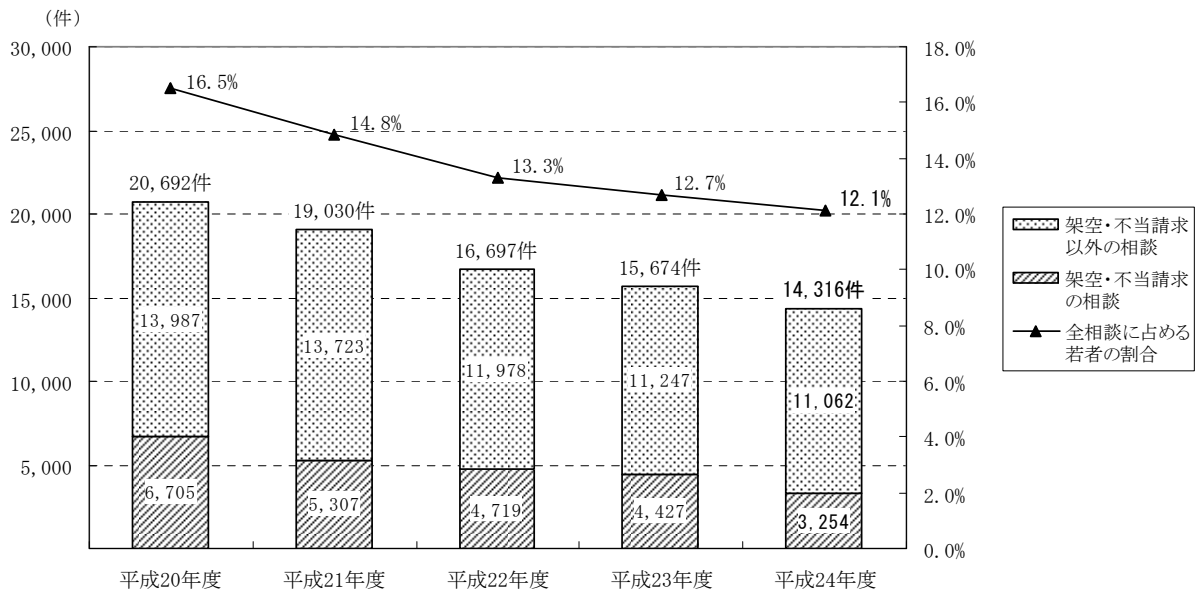


(2) 若者の相談 <契約当事者が29歳以下である相談>

① 若者の相談は過去5年間で見ると減少傾向にある。平成24年度の相談件数は14,316件で、前年度に比べ8.7%の減少となった。

全相談件数に占める割合も年々減少傾向にあり、平成24年度は全体の12.1%となった。  
(図-5)

【図-5】若者の相談件数の推移



② 若者の相談が占める割合の多い商品・役務について見ると、「内職・副業」に関する相談は全年代の相談件数の4割以上、「理美容」「教室・講座」については3割以上を若者の相談が占める。(表-2)

【表-2】若者の相談が占める割合の多い商品・役務 (平成24年度)

(単位: 件)

| 商品・役務分類   | 若者の相談が占める割合 | 若者の相談 | 全年代の相談※ | 主な項目  |
|-----------|-------------|-------|---------|---|
| 内職・副業     | 40.1%       | 267   | 666     | タレント・モデル内職、アフィリエイト内職、サラ金からお金を借りてくるアルバイト等    |
| 理美容       | 38.1%       | 612   | 1,607   | 痩身、脱毛、美顔などのエステティックサービス等                     |
| 教室・講座     | 33.2%       | 629   | 1,894   | タレント・モデル養成教室、海外スポーツじへの投資(アービトラージ)講座、就活セミナー等 |
| デジタルコンテンツ | 23.5%       | 3,895 | 16,542  | アダルト情報サイトなどの架空・不当請求等                        |
| 賃貸アパート    | 21.5%       | 1,308 | 6,081   | 賃貸アパートの修理代や敷金の返金等                           |
| 移動通信サービス  | 20.3%       | 516   | 2,546   | 携帯電話サービスやモバイルデータ通信等                         |

※年齢不明・無回答を除く